

2020東京オリンピック金メダリスト(空手 形)

喜友名選手来校

—子供を笑顔にするプロジェクト—

校長 市川 裕二



1月20日(金)に、本校で子供を笑顔にするプロジェクトが実施されました。子供を笑顔にするプロジェクトは、都内の学校向けに、「見る、聞く、触れる」など、様々な経験を通じて、新型コロナウイルスにより、学校生活に様々な影響のあった子供たちが笑顔を取り戻すきっかけとなるようにという目的で事業化されているものです。

本校では、このプロジェクトとして、オリンピック2020東京大会にて、空手(形)で金メダルを取られた、喜友名諒選手をお招きして、知的障害教育部門中学部の保健体育の授業に参加していただきました。本校の知的障害教育部門中学部では、保健体育の武道は「空手」を実施しています。空手の中でも形は、相手と直接組み合うことがないので、本校の児童生徒にとっては、安心して取り組める種目であると考えています。また、武道の学習に目標である、礼儀作法もしっかり学ぶことができます。

1月20日の当日は、中学部の生徒のほか、一部のB高等部の生徒も参加しました。

1時間弱の短い時間でしたが、練習を一緒に行う場面では、喜友名選手が生徒の間を移動しながら、時に並んで、時に向き合って、直接指導していただきました。また、演舞の披露もしていただいた際は、生徒も緊張感を間近に感じ、真剣に見つめる様子が見られました。普段の授業では味わえない体験ができ、喜友名選手を見送る生徒たちの表情にはたくさんの笑顔が見られました。

会場等の都合により、B部門中学部と、B部門高等部の一部生徒のみが会場での体験となり、ほかの児童・生徒はオンライン配信や後日の動画視聴で体験をしました。

喜友名選手が、あきる野学園に来てくれて、生徒と一緒に活動してくれたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。